

# SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



## 目次

- ☆巻頭文、訃報・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ☆風の子移転・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ☆虫めがね・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ☆虫めがね、スケジュール・・・・・・・・・・ 5
- ☆寄付のお礼、クラブボラ募集・・・・・・・・ 6
- ☆暑気払いの感想、クラブ活動報告・・・・・ 7
- ☆高浜夏祭り感想、活動報告・・・・・・・・・・ 8
- ☆Ryo'sエニグマルーム・・・・・・・・・・・・・ 9
- ☆バリアフリーよもやま話（岡本連載）  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ☆田中連載、岡本連載・・・・・・・・・・・・・・ 11
- ☆田村連載・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ☆三木連載、僕の生い立ち（太田連載）  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ☆クイズ解答・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ☆夕会便り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- ☆編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16

2015年  
10  
月号



## 巻頭文

皆さんお元気ですか？皆さんご存じでしょうか。これから約三年の間に、カナルサイド高浜が取り壊されて道路になることを。そして、風の子会が移転することを知っていますか！！  
新たな場所を探しています。良い場所がありましたら教えてください。ご協力よろしく申し上げます。

田中 聡



風の子会一同

通所会員の真部千代子さんが、十月十二日にお亡くなりになりました。  
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

## お知らせ

※メンバーからの個別メッセージは十二月号に掲載します。



# 高浜実習所が退去に！

品川駅周辺地区における新たな都市計画に伴って、現在風の子会高浜実習所が入っているカナルサイド高浜の建物が取り壊されることになりました。風の子会はまたどこかに移らなければなりません。

2020（平成32）年オリンピックに向けて、泉岳寺付近に新しく作られるJRの新駅を含め、品川駅付近から札の辻付近までのJR線路沿いの地域で開発が進められます。それに伴って、現在JR線の下を通っている天井高さの低いトンネルが、十分な高さで広いものに作り替えられます。新しい道路の位置は現在のトンネルから少し田町寄りとなり、トンネル出口付近では、道路が現在のカナルサイド高浜に影響を及ぼすため、道路の位置が制限され、他に方法がないということです。

解体の時期は、オリンピックに向けて間に合うように、ということで、遅くとも2018（平成30）年までには退去になると思われます。オリンピック終了後、別の場所に新しく建物を建てるそうですが、現在風の子会が借りている部屋は、特別区人事・厚生事務組合から港区が借りているものを風の子会に又貸ししてくれているものです。そのため、新たな建物も特別区人事・厚生事務組合および港区の予算で作られ、そこに風の子会の部屋を確保するということは難しいということです。

40年にわたる風の子会の実績と重要性、必要性は港区でも認められており、障害福祉課長から「風の子会の事業運営に与える影響が少なくなるよう、できる限りの支援を検討する。」ということも言っています。そのために障害福祉課と9月から話し合いをはじめ、まず状況説明を受けました。それに対し今後、風の子会としての要望を伝えていきます。

しかし状況は楽観できるものではありません。キャブの駐車場も含めて現在の実習所と同程度の広さ、条件で借りられるところは簡単には見つかりそうになく、たとえ見つかったとしても家賃、駐車場代は相当な額になり、当面は補助があったとしても将来的にこれを風の子会が維持していくことは大変困難です。さらに、民間の物件を風の子会のような障害者団体が借りることは相当な抵抗があることが予想されます。実際に、数年前風の子会が田町のあるマンションに入ろうとしたところ、その理事会から猛反対を受け、何度かの交渉の末、あきらめた苦い経験があります。風の子会としては、まずは廃校になった公立学校の跡地など、現在のカナルサイド高浜のような公共の施設への入居が最善なのですが、現在のところあてにできる場所は見つかりません。

風の子会の財政は、今年度赤字予算でスタートしているように、現在もこれからは厳しい状況が続きます。さらに、もし新しい場所が今よりも狭いものになると、受け入れ人数にも制限が出てくる可能性もあり、ますます財政を圧迫します。なんとしても現在の事業規模を維持し、変わらず有意義な活動を続けていくために、会員の皆さんにはこの現状を理解していただき、風の子会を守るための支援の輪を広げていただきたいと思います。よろしくお願いします。

岡本 明

# 虫めがね ～初めてののお酒～



初めてアルコールを口にしたときは、今から遡る（さかのぼる）こと数十年前、高等学校2年の時友達の家でビールを初めて口にしました。その時は「こんな苦いものよくグビグビ飲めるよな～」と思ったのですが、飲み慣れてくると意外と美味しく感じられやみつきになりました。けれど年齢を重ねてくると健康が気になり始めたので、ビールを控えて焼酎に切り替えました。



三木 直人



私が初めて飲んだお酒は、ビールでした。父は煙草とお酒には目がない人で、煙草は（睡眠、食事、入浴以外は）口から離さなかったし、お酒は晩酌を一日も欠かしませんでした。父の好物は日本酒で真夏でも、お燗をして呑んでいたように思うのですが、さすがに真夏の暑いときは冷えたビールから入ったようで、それを見ていた私は冷たいビールを飲みたくなって、父にねだってビールを飲ませて貰いました。しかし、その「苦いこと苦いこと」といったらなかったので、父はどうしてこんな苦い物を飲むのだろう？と不思議でした。



太田圭子



# 虫めがね ～初めてのお酒～

僕が好きなお酒はワインです。赤ワインは甘くて美味しいです。



ビールもうまいです。つまみも好きです。  
赤ワインが合うのはトマトとチーズです。  
赤ワインうまいです。  
僕はワインが好きです。

松本 恵司

## スケジュール

- 11月11日（水） 運営委員会
- 11月18日（水） 水曜学習会：大学の学食へ
- 12月12日（土） クリスマス会
- 12月29日（火）～1月3日（日） 冬休み
- 1月9日（土） 初詣



ボランティアの皆様  
よろしくお願いします！

# 寄付のお礼

賛助会にご賛同くださった方

原田 洋子様、鈴木 謙一様、大島 冷子様、  
住田 典意様、大野 誠様

ご協力ありがとうございました。

※8/1～8/31に  
ご入金くださった方



tipig

## ☆クラブ活動ボランティア募集☆

風の子会では毎月最終土曜日にクラブ活動を行っています！

内容は、料理部（ご飯のおかずやお菓子作り等）・運動部（身体を動かしたり、港区スポーツセンターにてプールに入る）・声楽部（歌を歌う）・手芸部（編み物で何かを作る）・読書部（パソコンのネットで自分の好きな本を読む）・パソコン部（インターネットやゲーム等）などのクラブ活動を少人数に分かれて行っています。

ここ数年、ボランティア（ボラ）をする方が非常に少なくなっています。我々障害者にとっては、やはりボラの方が気楽に何でも頼みやすいし話しやすいと思います。従ってボランティアの経験者は勿論、無経験者で何も分からなくても、当会に気軽に遊び気分に来て下さい！分からない事があったら何でも聞いて下さい。沢山の参加者を募集しています！！

幸 高史



よろしく  
お願いします！

## 暑気払い感想

飲み会の開催を暑気払い担当になったメンバーが積極的に話し合ってください、沢山のゲームの候補が浮かび上がりました。ビンゴゲームなど定番なものから、面白そうなゲームまで色々ありました。

暑気払い当日。四字熟語を使った絵当てクイズはとても難しそうで、簡単なものでも絵を描くのに悪戦苦闘している人がいました。皆さん絵を描くのが上手で班によってはすぐに答えが出る場所もありました。お酒を飲みながらクイズの答えを考えたりと楽しそうでした。

石森 翠



今回、暑気払いの実行委員を担当させて頂きました秋葉です。風の子の暑気払いは今回初めてで尚かつ実行委員・・・

とても緊張しました。今回の出し物はクイズとビンゴということになり



他の実行委員さんと共に内容を考えたり、必要なものやお菓子、飲み物を買出しに行ったりいろいろと大変でした。

当日は人数が少なかったですが、結果的に成功したと思うので大変よかったです。最後に参加して下さった皆様方、本当に有り難うございました。

お疲れ様でした。

秋葉 博

## クラブ活動報告

八月二十二日(土)午後一時～四時三十分まで、クラブ活動を行いました。ボランティア三名に来ていただきました。運動クラブでは『アクアフィールド・芝公園』に行き、プールで最後の夏気分を味わいました。松本さんは職員の岡本さんの手を借りながら泳ぎ、三木さんはプールの中で、歩行練習を井出さんと行っていました。僕は、佐久間(父)さんと一緒にはしゃいでみたり、メンバーの野田さんの背中にしがみついたりして楽しい一時でした。その他のクラブは、出版クラブはしばらく休止となり、声楽クラブは発声練習などを行っていました。次回のクラブ活動は、十月三十一日(土)午後一時～四時三十分です。

田中 聡

# 活動報告

- ・8月 3日（月） 城南特別支援学校の先生と親、生徒が見学に来た。
- ・8月 3日（月） 夏体験ボランティアとして3名が参加。
- ・8月 4日（火） 夏体験ボランティアとして2名が参加。
- ・8月 5日（水） 健康診断を芝病院にておこなった。
- ・8月 8日（土） 暑気払いをおこなった。
- ・8月12日（水） 障害福祉課の加茂課長、平野係長、石原さんが来所。  
岡本明さんのお知り合いの茂森さんが来所。
- ・8月13日（木）～17日（月） 夏休み
- ・8月19日（水） 水曜学習会でプールとカラオケボックスの二手に分かれて行った。
- ・8月22日（土） クラブ活動
- ・8月23日（日） 高浜荘夏祭り
- ・8月29日（土） 小出先生来所。健診結果の見直しと健康診断の意義についての座談会を開いた。

4日の体験ボラに来た高校生はやる気が余り感じられなくて残念だった。  
5日の健康診断後のみんなの良い結果を願う。  
8日の暑気払いは参加者がやや少なく感じられたが、少ないなりに盛り上がった。  
12日、岡本明さんが連れてきた茂森さんという方は、実は僕の高校の先輩だということが後日わかって驚いた。  
夏休み明け19日のプールは恒例行事として定着化しつつあり、のんびりまったり楽しんだ。  
クラブ活動、高浜祭りなどは、別記掲載しています。



小野塚 航



今回の高浜祭りでは風の子の担当が飲料販売のみでした。しかも机がいっつもより少なく、販売には支障がないのですが其れを利用して食事に使っている風の子にとっては数を戻して欲しいです（もともと用意されている食事場所は、狭いし人が混むし暑いので）。

食べ物の種類は豊富で、お腹いっぱいになれた且つ家にも持ち帰りが出来良かったです。

次回以降は沢山のメンバーが担当出来るように、風の子が担当する物を増やして欲しいです。

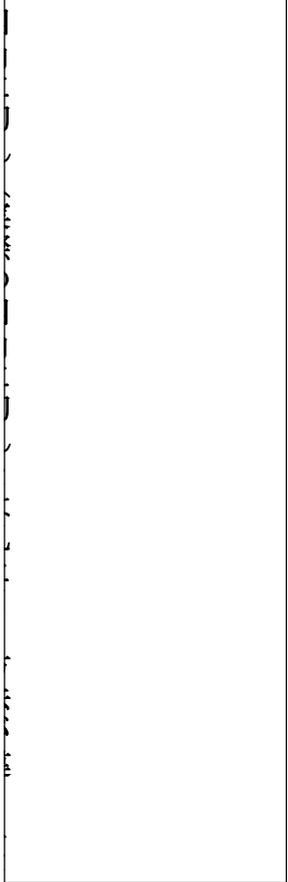
田村 亮彦



高浜夏祭り感想

# Ryo's エニグマルーム

4						6		
			8					4
		3						
	9					8		3
				6				
					2			
8			8					6
							6	
	4					5		
			6					4



		×			
○					
				×	×
	○			×	
	○				
		×			

タテヨコ同じ数の○と×が入るように○と×をインプットしていくパズルです。○と×は二つまで連続してインプットできませんが三つ繋がってはいけません。又、同じ○×並びのパターンが他の列と重複することはありません。

まるばつロジック

## 風の子便り連載

岡本 明

### バリアフリーよもやま話 第43回 「戦後70年」

今年には戦後70年、一つの節目としていろいろなイベントが行われ、新聞・雑誌などでも特集が組まれたりしています。



障害のある人に関するものでも、日本障害者協議会主催のイベント『戦後70年』企画：私たちに聴こえます！戦争の足音が・・・」、日本障害者リハビリテーション協会の『ノーマライゼーション』誌8月号の「戦後70年、戦争と障害者」特集、NHKのエテレ福祉情報番組「ハートネットTV」の「シリーズ戦後70年 障

害者と戦争」ほか、多くの企画がありました。これらの中から、戦争の悲惨さを語るいくつかの話をご紹介しますと思います。

世界中の人々が多くの困難な状況にあった戦時中、障害のある人にとってはさらに辛い体験、悲惨な事実が数多くありました。最も残酷なできごとの一つに、ドイツのアウシュビッツ収容所で、障害のある人が「生きるに値しない命」として大量抹殺された「T4作戦」があります。精神科の医師が積極的にかかわり、犠牲者は20万人とも言われます。これはのちのユダヤ人大量虐殺につながりました。それ以前にも、遺伝性の障害を断ち切る「強制断種」で40万人もの障害のある人が犠牲になったとされています。

そんな中、視覚障害や聴覚障害のあるユダヤ人が殺されるのを助けた、オットー・ヴァイトというドイツ人がいました。自身も視覚障害があるヴァイトは、本心は反ナチスでしたが、わいろを使ったり偽の身分証明書を作ったり、あらゆる方法を用いてナチスに取り入り、多くのユダヤ人を助けたそうです。人の命を救うための必要悪だったのです。このことを描いた絵本『パパ・ヴァイト』が日本でも今年出版されました。

戦争中、障害のある人は「穀つぶし」、「米喰い虫」などと言われて邪魔者扱いされることが多かったようです。同じ年代の若者が戦地で「お国のために」命をささげているときに何もできない申し訳なさも加わって辛かったと言います。そんな中で、障害のある人が少しでも戦争への協力をすると、新聞などで大きく取り上げられたそうです。全ての国民が結束して戦おうというキャンペーンに使われたのです。ハリ、灸、あんまや、琴の演奏ができる視覚障害の人は、傷病兵がいる病院を慰問しました。また、敵の飛行機の接近をいち早く聴き取る「防空監視」という役もあったそうです。ある視覚障害の方は「お役にたってうれしかった」と語っています。

→次ページへ続く

→続き

沖縄では、山に逃げる途中で、障害があって歩けない子供を置き去りにしなくてはならなかった家族もありました。障害のない人も、敵軍に捕まる恐怖に加えて、日本軍からも防空壕を追い出されたり自決を迫られたりし、さらには飢えに苦しみました。沖縄で長く精神科医をやっていた蟻塚亮二さんは、10年ほど前に不思議な不眠症の患者を多く見つけました。「爆撃で肉親を目の前で殺された」、「死体の山の中をひたすら逃げた」、「日本軍からガマ（逃げ場に使っていた自然洞窟）から追い出された」などの記憶が心の傷として浮かび上がってきて、PTSD（心的外傷後ストレス障害）として戦後60年も経ってから発症したのです。

元日本視覚障害者協議会会長の藤野高明さんは、終戦後の1946年、日本軍が捨てていった不発弾で遊んでいるとき、それが爆発して両手と視覚を失いました。「敵の爆撃によるものならまだ納得がいくが、戦争が終わって、ああやっと平和に暮らせると思った矢先に怪我をしたことには、やりようのない怒りがある」と言っておられます。

「戦争は障害のある人を殺すし、また障害のある人をつくり出す」という、日本障害者協議会代表の藤井克徳さんの言葉は印象的です。

## 僕と彼女と時々僕の家族

今月号から始まりました  
新連載です

**僕が今まで、好きになった女性は三人です。最初の彼女は、保育園時代の幼なじみの子で、二十三歳頃まで約二十年付き合っていました。**

**僕の家族とも仲良くしてくれ、夏休みのような長期休みは、毎年家族で行っていた軽井沢旅行や、友人数名で行った、ホテルのプールなどに一緒に行ってくれました。**

**SATOSHI・TANAKA**



## 歯を磨くタイミング

まず始めに、食後いつ歯磨きをすれば良いかを書きます。

昔は、食べたあとすぐに磨かないと駄目とされていました。しかし近年は、インターネット上やテレビ等の媒体で『食後三十分は磨かない方が良い』と言われていまず（賛成派も反対も居ます）。それでは正しいのはどちらなのかを、理由を説明していきながら簡潔に書いていきます。

『食べ物の酸によって唾液の中和が起き、歯の外側にあるエナメル質が一時的に柔らかくなる。それが再び硬くなるのに、約三十分かかる』という研究内容を根拠に、食後すぐに歯磨きをするとエナメル質を削り落としてしまうと指摘する人が現れ、その意外性から「食後の歯磨きは三十分経ってから」などという説が様々なメディアで紹介されるようになりました。この説に対し日本小児歯科学会は警鐘を鳴らしました。この説は虫歯とは異なる「酸蝕症」の実験結果から考察された内容であり、普通の食生活をしている人には当てはまりにくい現象であるとの考えを表明しました。『三十分経ってから』ではなく、むしろ食後は早めに歯を磨いた方が良いとのことです。

ただ例外があるとすれば、それはサイダーやコーラなどの炭酸飲料を飲んだ後など酸性のものを口に含んだ後です。歯の表面のエナメル質が一時的に柔らかくなり、普段よりも歯が傷つきやすい状態になります。この時はすぐに歯を磨くよりも、水や緑茶で口をゆすいだあとに歯を磨いたほうが良いようです（ゆすいだ直後で構いません）。

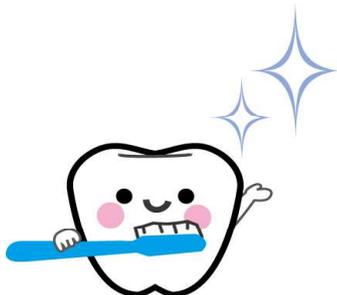
次にいつ頃（時間帯など）磨いたほうが良いかです。

右記でも挙がる通り食後の歯磨きに注目が集まりますが、『朝は食前の歯磨きが大事』です。なぜなら就寝中は唾液量が減り、口内で細菌が増殖しているからです。朝起きたらすぐに歯磨きをして綺麗にしておかないと、朝食と一緒に体の中に取り入れてしまうこととなります。前述のとおり、虫歯リスクが最も高まるのは就寝中です。寝ている間に増殖した細菌は虫歯や歯周病の進行を促します。そうしたトラブルを防ぐためには、寝る前にきちんとプラーク（歯垢）コントロールを行い細菌の数を減らしておくことが大切です。

食後の歯磨きについての日本小児歯科学会による見解

[http://www.jspd.or.jp/contents/gakkai/information/2012\\_01.html](http://www.jspd.or.jp/contents/gakkai/information/2012_01.html)

田村 亮彦



## 昭和～平成にかけて

朝の連続テレビ小説「おしん」（脚本＝橋田壽賀子）が1年間に渡って放送され視聴率62%という記録を打ち立てて、未だに記録を塗り替えられていません。日本中を興奮のルツボとさせました。主演：小林綾子（少女時代）・田中裕子（青春・成年期）・音羽乙子（中年・老年期）で、この作品は、台湾やシンガポール等世界68カ国の国・地域で放送されたそうです。

1984年2月冬季オリンピックがサラエボで開催されたのもこの年でした。5月5日藤井寺球場で行われた対日本ハムファイターズ戦で史上6人目の300勝投手となって以降でいていないそうです。

6月ドリフターズの『8時だよ！全員集合』のオープニングで8分間の停電があり懐中電灯で各出演者を紹介して乗り切ったそうです。

10月夏季オリンピック『ロサンゼルス大会』で柔道無差別級で山下泰裕選手が脚を痛めながらも金メダルを獲得、この時の対戦相手はエジプト代表のラシュワン選手に堂々と戦っての金、凄い精神力ですね。しかもラシュワン選手は山下選手の痛めてる方の脚を攻めなかったそうです。

1985年（昭和62年）9月携帯電話『ショルダーフォン』が発売され、以降次々と新機種が出てきて今のスマートフォンへと進化を遂げています。

※因みにスマートフォンのスマートとは、『頭のいい電話』という意味なので何でも出来る電話という事、電話でありながらもインターネットもゲームもメモ帳替わりも出来る優れた電話なのです。

三木 直人

## 僕の生い立ち

〜第四十三話〜

しかし僕たちがお願いする前に  
「ご飯食べてないんだろ？」  
と言って冷蔵庫の中を引っ掻き回して、少ない材料で卵焼きを作ってくれました。その卵焼きのおいしかったです。一郎君はあまり口数が多いほうではなかったのですが、ご飯の準備が終わると、ビールだけ一緒に飲んですぐ帰ってしまいました。本当に助かりました。感謝しています。一郎君、あのときのことはいまでも忘れないよ。

太田 稔

# クイズの答え



4						6			
			8					4	
		3							
	9					8			3
				6					
					2				
8			8					6	
							6		
	4					5			
			6						4

×	○	×	×	○	○
○	×	○	×	○	×
○	×	○	○	×	×
×	○	×	○	×	○
×	○	○	×	○	×
○	×	×	○	×	○



# 夕会便り

・水曜学習会として葛西臨海水族館に行きたいが水曜が休館日なため、九月十二日（土）に行きたいと土曜メンバーの許可を求め賛成を頂きました。

・十月三日（土）に行われるロータリークラブでのイベントで披露する、風の子による出し物についての話し合いの続きをしました。前回までの夕会で歌をやることだけは決まっていた。しかし、制限時間二十分で何曲も歌うことはメンバーの能力的に無理ではないかという意見が出て、メンバーに挨拶をしてもらったあとで一曲歌うことにしました。挨拶は太田稔さんがすることになりました。

歌の方法を、『歌+踊り』『明さんに助力して頂く』『歌のみ』という三つの中から多数決で決めることになり、その結果明さんに助力頂くことになりました。

歌う曲の候補は二十弱挙がりましたが、多数決の結果『上を向いて歩こう』に決まりました。

## 二十九日

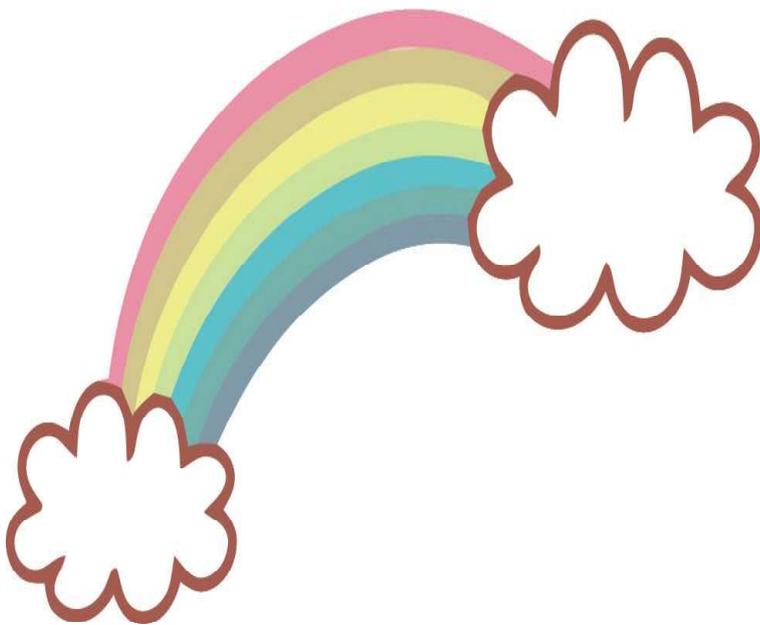
・区民まつりの班体制について話し合いました。まず山名さんから前回の班体制について説明がありました。メンバーから反対意見がなかったため、前回同様の『A・B2班体制』『A班四時間・B班二時間』に決まりました。

売上が少し悪いのではないかという意見がメンバーから挙がり、改善点として『もっと大声での呼び込み』『配置換え』『値上げ』が挙がりました。

田村 亮彦

僕は子供のころ誕生日には、母から本をプレゼントとしてもらったものでした。今になって考えてみるとそれがずいぶん役に立っていると、改めて母に感謝している次第です。このごろはテレビがお茶の間の主役になり、子供たちが本を読む機会がなくなってきています。別にテレビを否定するつもりはないのですが今の子供たちには本を読んでもらいたいものです。

太田 稔



僕は障害者です。僕は食べるのが大好きです。今、食べたいのはチャーハンです。食べないと倒れます。サツマ揚げとたまごのチャーハンです。作り方はサツマ揚げを包丁で細かく切ります。ふらいばんにあぶらをひいてからサツマ揚げと小松菜を炒めます。炒め終わったらお皿に移します。ご飯に卵を入れて混ぜます。油を引いたフライパンに卵ご飯を入れます。よく混ぜます。完成です。

柳川 敬事

今私は小説で「虐殺器官」という本を読んでいます。主人公の名はクラヴィズ・シェパードという名です。

この物語は、クラヴィズ・シェパードが所属する部隊で活躍する物語です。物語を読んで思ったことは、シェパードが学者に化けてルツァアという言語学者に近づいたときにルツァアが言った、「戦争を起こす前、人には行動学が見受けられる」と言っていたのが印象的でした。また、本を読んだ後に自分の母を大事にしようと思いました。

この本では、戦争についてたくさん書かれています。私は、そもそもなぜ戦争という物が生まれるか、言葉という物は私たちにとってプラスにも働くがマイナスにも働くその結果どうしようも無くなった状態を戦争だと思います。

ではなぜ戦争が起きるのでしょう。私一個人の意見としては、最初は人間同士個人個人で意見合わず対立していたがやがて規模が大きくなり、意見の不一致が起こりそれを今度は総括（まとめる）する人が出てきて、戦争が起こるのだと思います。

私は、私達の住んでいる日本の首相だが今の日本首相は頼りが無い気がする。

塚田 愛基



## 編集後記

ひとりぼっちの障害者をなくそう  
特定非営利活動法人・風の子会  
～定価40円～

企画  
石川 久野  
太田 中野  
佐藤 塚田  
松本 木田  
右田 村田  
幸田 本村  
和栗 田本  
頭 高 慶 亮  
太史 司彦 庸 稔 郎

吉柳 三塚 田小 太  
田川 木田 中野 田  
塚

久敬 直愛 圭  
代事 人基 聡 航 子

編集人：【高浜生活実習所】  
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075

東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階  
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会  
東京都世田谷区砦6-26-21

